

## 平成 25 年度 第 1 回環境マネジメントシステム実施委員会議事録

日 時 : 平成 25 年 5 月 17 日(金) 8 : 45 ~ 10 : 35  
場 所 : 本部棟 5 階 大会議室  
出席者 : 辻 敏明委員長, 巢山 弘介, 南 勉, 熊丸 真太郎, 谷口 隆雄, 小林 和広,  
西脇 宏, 瀬戸 浩二, 藤原 高博 (安藤 安則代理), 青山 眞也, 安田 毅,  
阿部 祐一, 桑原 智之, 上園 昌武, 田上 洋, 田中 秀和, 米原 昌隆,  
石井 雅也, 佐藤 未琴  
欠 席 : 竹内 美佐子, 山岸 主門,  
事 務 : 百合澤 彰, 青木 孝恵, 小澤 崇良, 上野 和将, 木村 千寿子  
陪 席 : 池田 絢也, 野津 賢治, 石倉 大輔

議事に先立ち, 委員の交代があったため委員会名簿を参考に委員長より, 新委員の紹介があった。

### 議 題 1.平成 25 年度環境マネジメントシステムについて

(報告事項 1.平成 24 年度学長見直し会議の結果について)

委員長より, 議題 1.平成 25 年度のマネジメントシステムについて議論をする上で, 3 月実施委員会において新委員会への移行について決定したが, これまでのところで規則制定がされず, 本年度も引き続き EMS 実施委員会を継続することとなった経緯説明する必要がある, 関連する「報告事項 1.平成 24 年度学長見直し会議の結果」について巢山副委員長より報告する旨, 説明があった。

巢山副委員長より, 資料に基づき学長見直し会議の結果について報告があった。

引き続き委員長から, 学長見直し会議において, 学長よりこれまで検討していた「企画・助言委員会」では委員会の任務に「検証」が明記されていないこと, また, 学外有識者を委員に入れることなどの修正を現状の EMS 実施委員会で検討するよう指示が出されたと説明があった。

これに対応するため, 委員長・副委員長で検討し, 新委員会の任務等の案を作成し学長に示したところ, 今後のスケジュールを含め了承が得られたことから, 新委員会「松江キャンパス環境マネジメントシステム改善委員会規則(案)」と「実施内容報告書及び評価書(案)」を提案し, 可能なものから前倒しで実施したいと説明の後, 意見交換を行った。委員からは以下のような意見が出された。

○これまで行っていた内部監査を継続するかどうか。

・内部においての評価点検は新委員会の任務になるが, これまでの内部監査体制を継続した方が良いという事になれば, 中間評価は内部監査の仕組みを使うことも可能だと考える。

○点検評価(内部監査)の際に, 現場監査をするのか。

・書類による報告を想定していたが, 必要があれば現場監査を実施することも検討する。

○作業部会のメンバーが決まっていないが, 今後どうするのか。

・作業部会は, 現委員会の間(本年 9 月末までを目途)は存続するが, 新委員会では想定し

ていないため、現在選出依頼はしていない。しかし、作業部会責任者から要望があれば、選出依頼をする。(これについては、現時点で各責任者からの要望はなかった。)

○目的・目標について、委員会が決めるとされており一方的に決めるように見える。

・委員会は所管と協議のうえ、目的・目標を定めることとしたい。新委員会は、全体の取りまとめ役であり、指示母体ではない。

○報告書の中に「広報・地域貢献」を記載する欄があるが、記入は必須か。

・該当があれば積極的に PR してほしいということであり必須ではない。

○3月までの検討内容と大きく違う。「実施内容報告書及び評価書」の様式の所管について、環境教育・環境研究が各学部・研究科となっているが、昨年度までは学部等でこれらの目的目標を個別に設定しておらず、簡素化するという前提に反して、過重負担になっていると感じる。

・具体的に目的・目標の設定はしていないが、これまでに学部・研究科が行ってきた活動の中には、環境教育・研究に関する内容も含まれており、本年度も継続していると考ええる。しかし、環境教育・研究の分野については、数値的な目的・目標は難しいため、引き続き意見を伺いたい。

○年度初めに計画を記載すると、それが達成できなかった場合、評価が悪くなるのでは負担が大きい。

・委員会はシステムについて確認・検証を行うものであり、目標に達成したかどうかで評価するものではないと考える。

○部局には負担を掛けない簡易な仕組みにしてほしい。EMS 以外の委員会が行っている内容についても EMS が評価をするのか。

・既に各部局で PDCA が回っているので、新たな負担をかけるつもりはない。別の委員会等において、計画を立て所管が実行しているので活動内容に対する評価はしない。その中で、環境に関する活動に対し、自己点検・評価した内容を EMS 委員会に報告し、その活動内容が適切かどうかを確認するのが新委員会の任務と想定する。また、委員において報告内容が不相当であったと判断した場合でも、部局等から再度意見を述べる仕組みを提案している。

これらの質疑応答が行われた後、今回提案した委員会規則案、報告書の様式等について各部局等に持ち帰り、5月末日までに代替案も含んだ意見を事務局へ提出することとなった。

## 2. 平成 25 年度環境報告書の作成について

委員長より、「環境配慮促進法」に定められている「環境報告書」について、9月末までに公表することが義務付けられており、今年度の作成要項を提案するので審議いただきたい旨、述べられた。

原稿の作成分担は、前年度の活動実績となるため、作業部会責任者を含む各委員に依頼することが了承された。

なお、研究機構所属委員より、昨年度までは学内共同対応委員会からの選出であったが、現在は機構からの選出となっているため、各センターへ原稿依頼をしてもらえないかと発言があり、これについては別途事務局と相談の上、対応することになった。

3. 平成 25 年度学生 EMS 委員会委員の委嘱について

委員長より、本年度学生 EMS 委員会委員として活動の意思表示をした在学生及び新入生 35 名に対し委嘱状を交付したい旨説明があり、異議なく承認された。

4. その他

特になし。

報告事項

1. 平成 24 年度学長見直し会議の結果について

委員長より、議題 1.にあわせ報告済みであるが、環境マネジメントシステムのその他の要素に対する要変更改善事項(3)として指示のあった、化学物質管理システムに関する事項については、安全衛生委員会の所掌となるため、安全衛生委員会へ検討依頼をする旨説明があった。

2. 6 月環境月間行事について

委員長より、6 月の環境月間にあわた行事として、資料に基づき一斉清掃の計画について報告及び協力依頼があった。

3. EMS ニュースの発行について

委員長より、EMS ニュース（ビビットと島大エコ新聞）の発行について、資料に基づき報告があった。

4. その他

特になし。

次回、実施委員会は、議題 1 に対する意見を受け、6 月 3 日～14 日を目途に日程調整の上、開催することが確認された。